

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 青野 正 (鈴木敏亮)	内線	3931 (3946)
------	-------	---------------------	-------------------	----	----------------

事業種目	中山間 総合整備	事業名	事業区間	総事業費	8.6億円
		中山間地域 総合整備事業	八鹿地区	内用地補償費	0.1億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
養父郡八鹿町	H16	H16	H20

事業目的	事業内容
<p>農村振興基本計画(平成14年度策定)のなかで「健康な暮らしと新たな産業を育む環境創造都市八鹿」を掲げ、環境と調和した新たな産業を育むとともに、「人・もの」の多様な交流が育まれることを将来像としている。</p> <p>この実現に向け、本事業においては、有機の里づくりとして畜産業との連携による有機農業への取り組みや高付加価値農業の確立を目指すとともに、良好な農村環境との調和に配慮した生活環境の創出を総合的に行い農業農村の有する多面的機能の維持・保全を図ることを目的とする。</p> <p>事業主体：八鹿町</p>	<p>1. 農業生産基盤 (用排水路改修L=3.2km、農道舗装L=8.7km、ため池改修3箇所) (国55%、県13%、町・地元32%)</p> <p>2. 生活環境基盤 (農業集落道改修 L = 0.8km、農業集落排水路改修 L = 0.7km、防火水槽設置2箇所、堆肥センター用地整備1箇所、農村公園1箇所、活性化施設 1箇所) 集道・集排(国55%、県6%、町・地元39%) 水槽・用地・公園・活性化施設 (国55%、県3%、町・地元42%)</p> <p>3. 生態系保全施設 (鳥獣害防止柵 L = 13.6km) (国55%、県6%、町・地元39%)</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	建設が進められている北近畿豊岡自動車道八鹿ICや但馬長寿の郷の開設等によって、広域交流の進展が見込まれ、基幹産業である農業もこれまでの食料生産といった1次的な機能のみならず、レクリエーション、景観、環境保全等の多面的な機能発揮が望まれる。地域資源を活かし、良好な農村環境と調和した生産基盤、生活環境及び交流施設の整備等総合的な取り組みを行い、農業農村の有する多面的機能を維持・保全する必要がある。
(2)有効性・効率性	生産基盤整備によって、地域性を活かした多様な営農体系が可能となり、さらに堆肥センターの整備によって有機農業等の高付加価値農業に向けた新たな展開が可能となる。また、活性化施設等の整備により交流人口の増加が見込まれ、農業振興とともに地域活性化が図られ、農業農村のもつ多面的機能の維持保全に寄与するものである。 費用便益比 B / C = 1.47
(3)環境適合性	本事業計画は、農道整備や農業用排水路施設整備の大半が、既存施設の改良、老朽施設の更新等の地形的改変を伴わない整備計画としている。また、生活環境整備においては、立地条件及び周囲環境を勘案しながら、間伐材を利用するなど農村景観や自然環境に配慮した整備を計画している。また、本年度に但馬県民局において、花と緑による豊かで魅力ある地域景観形成を目的とした「南但馬地域景観形成構想」が策定されるため、この事業においても景観に優れた整備を行う。
(4)優先性	過疎化・高齢化が進むなか、北近畿豊岡自動車道の延伸、八鹿インターチェンジの開通を視野に入れた地域活性化に取り組む必要があり、都市との交流を基盤とした農業の振興や地域の振興を早急に促進していく必要がある。